



朽ち果てていた古民家を復元工事が完成し、「晴耕雨読」と名づけられた連棟の古民家。復原された古民家は八棟を数え、宿泊施設として活用されている。

内野輝明 (南内野設計 代表)

1970年代、江戸時代からすでに秘境と呼ばれていたこの地を、とある米国青年が訪ねた。昔の生活は消え行く間際であった。草を編んだ蓑を着て野良仕事に出て、家の中では囲炉裏が使われる昔の生活がまだかろうじて残っていた。彼によって民家の修復がはじまり、旅人が泊まれる施設として再生されていった。彼の名は、アレックス・カー、後に「美しき日本の残像」など数々の日本文化論を著した。

重要伝統的建造物群保存地区に選定されて10年。青いトタンは風景になじむ色に塗り替えられ、茅葺屋根の民家は8棟にまで増え、茅葺でなくてもこの集落で暮らしたい若者による改修で生き返る民家も増えてきた。いまや全国的にも珍しい、日本精神の一つの源流、遠く中国まで広がる照葉樹林文化圏の生活を今に残す高地性集落の暮らしが今も息づく旧東祖谷山村落合集落。吉野川流域の人々は落合のような高地性集落を「ソラ」と言い、そこに住む人々は「ソラの人」と呼ばれた。このような「ソラ」集落は剣山系に200以上現存する。

ここに籠もって何が見えてくるのか。秘境の空、山、谷、空気、昔からここで受け継がれてきた暮らし、記憶、生きている人々そのもの。そのなかにどっぴりとつかり、集落の暮らしや風俗を実体験し、現地の人たちと語りあう。かつての村の風景を再現することで醸成されつつある、ものとしての美しい集落環境を観光資源としてどう活かすか。人と家、そして家の周辺での暮らしそのものが集落の景観をつくりだす。高齢化が進む集落の人々はこのことを楽しみながら、収入を得て暮らせるようになり、若者が還り、集落が再生することを心から願っている。それには何が必要なのか。

私たちはロストから再生へのプロセスを見いだす努力をする中から多くのことに気づき、学ぶことになるだろう。全国各地で失われつつある、もしくはすでに失われてしまった「日本の風景」と「日本の精神」。自分たちの日常生活の場である、各々の風景と精神を取り戻すために、再生するために、われわれ建築家になにができるのか。そもそも取り戻すことに意味があるのかという大きな問いを含め考え始めるきっかけを、この秘境の地でつかみたいと思う。

秘境の地で受け継がれてきた暮らし

心に残るまちなみ 42 東祖谷山村 落合集落 (徳島県三好市)



上：茅葺改修中の長岡家住宅。中に入って見学するのも可能

表紙：落合集落遠景
裏表紙(上)：「赤道」と呼ばれる里道。車道ができる前の生活動線
裏表紙(下)：赤道と「はで」。「はで」とは、米、そばなどの穀物類、野菜、山菜、果樹などを干す臨時的な工作物。剣山系では常設で、伝統的干し物文化を支える



内野輝明 (うちの・てるあき)
1963年徳島県生まれ。大阪工業大学卒業。山本西原建築設計事務所(大阪)。1990~91年海外視察、帰国後、壺淵建築設計室(徳島)、高崎正治都市建築設計事務所(鹿児島)を経て、1999年内野輝明建築設計事務所設立。徳島県建築士会木造建築研究会代表幹事

表紙エッセイ	心に残るまちなみ42 東祖谷山村 落合集落 (徳島県三好市)	秘境の地で受け継がれてきた暮らし	内野輝明 (南内野設計 代表)	
住宅地研究	郊外住宅地の高齢者の居場所を考える		樋野公宏 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授)	2
住宅地研究	程よく開かれた住まいを考える		天野克也 (東京都市大学工学部 建築学科 教授)	10
まちづくり研究	住み続けられ、住み継がれる郊外戸建住宅地を考える ——30年を経た戸建住宅地を訪ねて (その2)		井上拓哉 (株式会社現代計画研究所)	16
エッセイ69	「墓地」から「路地」へ		小林秀和 (ミサワホーム(株))	22
エッセイ70	人と歴史が交錯する、台湾のまち		垂水英司 (神戸・被災地市民交流会 代表)	24
シンポジウム	第27回 住生活月間協賛 まちなみシンポジウム(東京)(大阪) これから求められるまちづくりのあり方			27
東京 (第1部) 基調講演	持続可能な地域コミュニティ形成とまちづくり 人口減少社会を希望に		齊木崇人 (神戸芸術工科大学 学長) 広井良典 (千葉大学法政経学部 教授)	28 32
(第2部) パネルディスカッション	「コミュニティ再生と自然共生」を考えたまちづくり コメント：私のこれまでを振り返って1973~2015年 齊木崇人・広井良典 モデレーター 藤本昌也		藤本昌也 (建築家、日本建築士会連合会 名誉会長)	36
大阪 (第1部) 基調講演	「地方創生」の時代のすまい・まちづくり 豊かな暮らしとまちなみの創造		高田 昇 (都市計画家・立命館大学政策科学部 客員教授) 佐々木宏幸 (明治大学理工学部建築学科 専任准教授・FTS Urban Design 代表)	44 48
(第2部) パネルディスカッション	これから求められるまちづくりのあり方 高田 昇・佐々木宏幸 モデレーター 藤本昌也			52
まちなみ研究	戸建住宅地におけるまちなみの管理 第3回 地権者組合によるファーストブレイス・メイキング		温井達也 (㈱ブレイスメイキング研究所 代表取締役)	58
住宅地研究	住宅地開発とランドスケープ 第4回 英国のスクエア海をわたる：スクエアの文化伝播		坂井 文 (東京都市大学都市生活学部 教授)	66
	住宅総合展示事業実績 (平成26年11月~平成27年5月)			73
	バックナンバー 財団日誌			82
	まちなみ遺産 シリーズ24 塩山下小田原上条集落 (山梨県甲州市)			